

新しいVAへの移行に関するベストプラクティスの理解

内容

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[新しい仮想アプライアンスVMの導入](#)

[DNSの新しいVAへの移行](#)

[古いVA VMの削除](#)

はじめに

このドキュメントでは、他のVAまたは非VAのローカルDNSサーバを置き換える新しいUmbrella VAインスタンスへの移行プロセスのベストプラクティスについて説明します。

背景説明

新しい仮想アプリケーション(VA)のシナリオには、次のものが含まれます。

- VAの初めての導入
- 既存のVMホストを新しいホストに置き換える
- 古いインスタンスと異なるIPで新しいVAインスタンスを起動する
 - 。たとえば、サポートから要請があった場合は、
- 異なるIPアドレスでのVAへの移行
- VAの別のUmbrella組織への移行
- VAの使用からの移行

新しい仮想アプライアンスVMの導入

最初のステップは、移行するDNSサーバを動作可能にすることです。ほとんどの場合、新しい仮想アプライアンスが新しい永続的なIPアドレスで運用中です。

ステータスチェック：

- 古いDNS/VA:IP Aで稼働。すべてのDNSを受信しています。
- 新しいVA:IP Bで稼働
- DHCP:IP B

DNSの新しいVAへの移行

この手順では、ネットワークの現在のDNS設定（通常はDHCP指定）を、古いDNS設定から新し

いVAの新しいDNS設定に調整します。DHCPリースは時間の経過とともに期限切れになるため、DNSの中断を避けるために、少なくともDHCPリースの期限切れ時と同じ期間、古いローカルDNSサーバが引き続き動作するようにします。

ステータスチェック：

- 古いDNS/VA:IP Aで稼働しています。一部のDNSを受信しています。
- 新しいVA：一部のDNSを受信するIP Bで稼働しています。
- DHCP:IP A。古いリースでもIP Bを使用できます。

古いVA VMの削除

*移行元のDNSサーバがVAではない場合、このステップはスキップしてください。

すべてのユーザのDHCPリースが期限切れになり、新しいDNSサーバに更新されたら、古いDNSサーバがDNSクエリーを受信していないことを確認します。これらの古いIPにDNSを送信している残りのスタティックエントリを修正します。この時点で、移行は完了しています。古いDNSサーバがVAの場合は、そのサーバとそのUmbrellaダッシュボードエントリを削除できます。古いDNSサーバがローカルレコード用のDCまたはローカルDNSサーバである場合は、VAがローカルDNSドメイン用に使用するため、このサーバを保持します。

ステータスチェック：

- 古いVA：ダウンしました。VAまたはActive Directory経由でローカルDNSに使用されている場合は、古いローカルDNSが残る
- 新しいVA:IP B上で稼働しています。すべてのDNSを受信しています。
- DHCP:IP B

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。